予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款:総務費 項:企画開発費 目:情報化推進費

事業名 県民動向実態調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください) 総務部 情報企画課 情報企画係 電話番号:058-272-1111 (内 2255)

E-mail: c11120@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,570千円(前年度予算額: 0千円)

<財源内訳>

| | | | | 財 | 源 | 内 | 訴 | 1 | | | |
|-----|-------|-----|-----|-----|----|------|-----|-----|---|----|-----|
| 区分 | 事業費 | 国庫 | 分担金 | 使用料 | 財産 | 寄附金 | その他 | 県 | 債 | 1 | 般 |
| | | 支出金 | 負担金 | 手数料 | 収入 | 前門 並 | ての他 | · 异 | 浿 | 財 | 源 |
| 前年度 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 |
| 要求額 | 9,570 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 9, | 570 |
| 決定額 | | | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1)要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、県では、令和2年4月10日に「非常事態」総合対策として、県民に対し不要不急の外出自粛を要請した。4月20日には「緊急事態」総合対策により、さらなる外出自粛を要請している。このような中で、県民の外出自粛の状況を把握し、今後必要な施策の立案に資するため、ビッグデータを活用した県民動向実態調査を実施する。

(2) 事業内容

携帯電話端末の利用者情報から得られる特定区域(メッシュ)の推計人口 データの提供を受け、分析を行うことで、県民の動向を把握する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4)類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-------|--------------|
| 委託料 | 9,570 | ビッグデータ提供業務委託 |
| 合計 | 9,570 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1)各種計画での位置づけ無

(2) 国・他県の状況

国や他県においても類似事業が行われている。

(3)後年度の財政負担

翌年度以降の対応については、新型コロナウイルスの状況を鑑みて判断する。

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体:県

事 業 評 価 調 書(県単独補助金除く)

□ 新規要求事業

■ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

外出自粛要請による効果を確認し、新型コロナウイルス感染拡大の終息に 寄与する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

| 指標名 | 事業 開始前 | 指標の |)推移 | 現在値 | 且標 | 達成率 |
|-----|-----------|------|------|------|-----|-----|
| | | | | | | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (R) | |
| | | | | | | % |
| | (H) | (H) | (H) | (H) | (R) | |

〇指標を設定することができない場合の理由

外出自粛要請による効果を確認するための調査であり、指標の設定は困難。

(前年度の取組)

- 事業の活動内容(会議の開催、研修の参加人数等)
 - 感染症対策担当課からの依頼に応じ、本事業の調査結果を活用して、 新型コロナウイルス感染症関係会議の資料を作成し提供
 - 毎週月曜日に、岐阜駅前の人出の状況を県幹部に報告

(前年度の成果)

| ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果 |
|-------------------------------|
| |
| |
| |
| |
| |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| ・事業の | 必要性(社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か) |
|------------------------|--|
| 〇:必 | 要性が高い Δ:必要性が低い |
| (評価) | 新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために外出自粛要請を行 |
| 0 | い、その効果を確認する必要がある |
| | |
| ・事業の | 有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) |
| 〇:概: | ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている |
| Δ:ま | だ期待どおりの成果が得られていない |
| (評価) | |
| | |
| | |
| | |
| 事業の: | 効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) |
| | 効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 率化は図られている Δ:向上の余地がある |
| | |
| 〇:効型 | |
| 〇:効型 | |

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

今後の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、必要に応じて調査内容を見 直しする。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今 後どのように取り組むのか

今後の新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、事業の終期を判断する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| 組み合わせ予定のイベント又 | |
|---------------|-------|
| は事業名及び所管課 | 【〇〇課】 |
| 組み合わせて実施する理由や | |
| 期待する効果 など | |